

# めぐみイエス・キリスト教会

2020年2月16日(日)第三主日礼拝  
週報「通算第494号」



## 2020年標題聖句

### 第I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時~11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時~7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分~7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年2月16日 第三主日礼拝  
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時  
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん  
◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌265「世人の咎の為に」 p. 416

【交読文】 No.50 イザヤ書第53章 p. 919

【賛美Ⅱ】 新聖歌222「罪の深みに」 p. 336

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.17 「父なる神の愛」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書21章20節～23節(新約p. 230)

【祈 禱】

【説 教】 《この人はどうなのですか》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

●ポイント1. 最後の晩餐の場面から

※ヨハネの福音書13章21節～28節「シモン・ペテロとヨハネ」(新約p.212)

13:21 イエスは、これらのことを話されたとき、心が騒いだ。そして証しされた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。あなたがたのうちの一  
人が、私を裏切ります。」

13:22 弟子たちは、だれのことを言われたのか分からず当惑し、互いに  
顔を見合わせていた。

13:23 弟子の一人がイエスの胸のところまで横になっていた。イエスが愛し  
ておられた弟子である。

13:24 そこで、シモン・ペテロは彼に、だれのことを言われたのか尋ねる  
ように合図した。

13:25 その弟子はイエスの胸元に寄りかかったまま、イエスに言った。「主よ、それはだれのことですか。」

13:26 イエスは答えられた。「私がパン切れを浸して与える者が、その人です。」それからイエスはパン切れを浸して取り、イスカリオテのシモンの子ユダに与えられた。

13:27 ユダがパン切れを受け取ると、その時、サタンが彼に入った。するとイエスは彼に言われた。「あなたがしようとしている事を、すぐしなさい」

13:28 席に着いていた者で、なぜイエスがユダにそう言われたのか、分かった者はだれもいなかった。

●ポイント2.ゼベダイの妻と、その子どもたちの願いごととは？

※マタイの福音書20章20節～24節「母サロメとヤコブ・ヨハネ」(新約p.41)

20:20 そのとき、ゼベダイの息子たちの母が、息子たちと一緒にイエスのところに来てひれ伏し、何かを願おうとした。

20:21 イエスが彼女に「何を願うのですか」と言われると、彼女は言った。「私のこの二人の息子があなたの御国で、一人はあなたの右に、一人は左に座れるように、お言葉を下さい。」

20:22 イエスは答えられた。「あなたがたは自分が何を求めているのか分かっていません。私が飲もうとしている杯を飲むことができますか。」彼らは「できます」と言った。

20:23 イエスは言われた。「あなたがたは私の杯を飲むことになります。しかし、私の右と左に座ることは、私が許すことではありません。私の父によって備えられた人たちに与えられるのです。」

20:24 ほかの十人はこれを聞いて、この二人の兄弟に腹を立てた。

●ポイント3.「あなたに何の関わりが～、あなたは私に従いなさい」とは？

※第Ⅰコリント12章4節～12節・27節「パウロの勧め」 (新約p.344下段)

※第Ⅱコリント12章9節「主イエス様のパウロへの答え」 (新約p.371)

12:9 しかし主は、「私の恵みはあなたに十分である。私の力は弱さのうち完全に現れるからである」と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

## ◎先週のメッセージの概要【あなたは私を愛していますか】

《今週は、復活された主イエス様が十一弟子たちに現われた三回目の場面の続きからとなります。イエス様が用意された「朝の食事」の楽しい交わりのひと時が済んだ後の出来事です。この場面も、ヨハネの福音書独自の記事であって、イエス様と食事を終え、満足しているシモン・ペテロとの魂の触れあい、師弟愛の麗しい交わりを見ることになるのです。

イエス様がペテロを方々向いて、質問なさいます。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たちが愛する以上に私を愛していますか。」と。

この質問の真意は何でしょうか。イエス様は、創造主なる神様です。しかし、神様であると同時に、まことの人でもあるのです。それゆえに人格をお持ちです。主は私たちと同じように、感情を持っておられます。

愛する弟子ペテロが、たとえサタンの誘惑による結果であったとしても、裏切り、また三度も否定した時に、イエス様はどんな気持ちを持たれたのでしょうか。親しい友に裏切られて、喜ぶ人はいるのでしょうか。

「ヨハネの子シモン。あなたは私を愛していますか。」

「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたをご存じです。」

私は、イエス様が本当に聞きたかった答えは、「主よ。私はあなたを愛しています。三度も知らないと言った私をお許し下さい。」だと思っております。

ペテロの否定によって、主イエス様ご自身も、悲しまれ、傷つかれたのです。パウロは、このように「エペソ人への手紙」において命じています。『神の聖霊を悲しませてはいけません。』と。第三位格の聖霊は、主の霊でもあられますので、主イエス様も悲しまれることは明白なのです。

このガリラヤ湖畔の食卓の場面において、イエス様は、ペテロの否定の罪の赦しと、心の傷のいやしをなされました。また、イエス様側の観点からにおいても、愛する弟子ペテロとの愛の交わりが回復したのです。》

## ◎お知らせ

※2月23日(日)主日礼拝は、都合によりお休みします。次回は、3月1日(日)です。また2月26日(水)の「聖書の学びと祈り会」もお休みです。次回は、3月4日(水)となります。2月21日(金)午後2時から、マイライフジーザス千葉において、岸先生のメッセージとSax演奏(伴奏鈴木師)があります。